

# 総合交通メールマガジン

第62号

平成25年10月11日発行  
発行元：国土交通省 総合政策局  
総務課（総合交通体系グループ）

## 目次

### 総合交通メールマガジンとは

#### Topics

- ◆ 柏市における「マルチ交通シェアリング」「スマートサイクル」の取り組み  
（一般社団法人 柏の葉アーバンデザインセンター）
- ◆ 横浜都心部におけるコミュニティサイクルの取り組み  
（横浜市 都市整備局 都市交通課）

#### イベント紹介

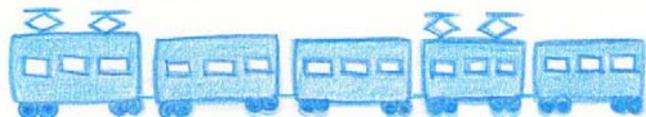
- ◆ **【10月17日開催】**「ITSお役立ちアプリ大集合 ～地域からはじまる“Open the Next”～」(第20回ITS世界会議 東京2013)  
（特定非営利活動法人 ITS Japan）
- ◆ **【11月5日開催】**「平成25年度公共交通勉強会（第3回）～ 続・守りから攻めへ～」の開催について  
（兵庫県 県土整備部 県土企画局 交通政策課）

#### 総合交通体系グループだより

- ◆ **【11月26日～11月29日開催】**「専門課程 総合交通体系（地域モビリティ戦略）研修」を国土交通大学校で開催します。
- ◆ 全国総合交通分析システム（NITAS）の紹介

#### Infomation

- ◆ 総合交通メールマガジンへのご意見をお寄せ下さい！
- ◆ 地域の取り組み 及び イベント案内 募集！！
- ◆ ～受付窓口の変更がありましたらご連絡ください～





## 総合交通メールマガジンとは

総合交通メールマガジンは、交通基盤整備や地域交通に関する最新の取り組みを幅広く紹介することを目的として、月一回を目処に発行しているメールマガジンであり、主な購読者は都道府県、市町村等の交通施策担当者となっております。

当メールマガジンで紹介させていただく記事については、執筆者が任意の協力のもとで作成したものであり、成果を広く共有する観点から、二次的利用も可能な形式で掲載しております。

《総合交通メールマガジンのバックナンバーはこちら↓》

[http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/soukou/seisakutokatsu\\_soukou\\_tk\\_000005.html](http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/soukou/seisakutokatsu_soukou_tk_000005.html)



## Topics

### ◆柏市における「マルチ交通シェアリング」「スマートサイクル」の取り組み

(一般社団法人 柏の葉アーバンデザインセンター)

千葉県柏市(柏の葉キャンパスエリア)では、『柏の葉国際キャンパスタウン構想』の理念のもと、“環境共生都市”、“健康長寿都市”、“新産業創造都市”の3つのテーマに基づき、安心・安全・サステナブルな街づくりが進められています。

とりわけ、「環境共生都市」については、地球環境にやさしい新たな地域交通システムの実現を目指して、「マルチ交通シェアリング」と「かしわスマートサイクル」の二つの実証実験が、産官学の連携のもとで実施されています。

(マルチ交通シェアリング)

「マルチ交通シェアリング」とは、四種類の乗り物(自動車、電動バイク、電動アシスト自転車、自転車)と市内における複数の貸出・返却ポートを利用して、市内を自由に移動する未来型エコ交通システムであり、平成23年6月から実証実験として実施されています(自転車については、後述の「スマートサイクル」と連動)。

マルチ交通シェアリングの利用登録者数は、社会実験の開始当初は約120人程度(平成23年6月)でしたが、その後は順調に増加し続け、直近では550人(平成25年7月)に迫るまでになっています。利用者からは、「遠出が楽になり、家族と外出する機会が増えた」、「街の新しい発見があった」という声を頂いています。

(スマートサイクル)

柏市を中心として共同自転車と街のポイントプログラムとを連携させることにより、地球温暖化対策、自転車利用による健康増進、地域の活性化を目指して、平成22年4月から「スマートサイクル」実証実験を実施しています。





「スマートサイクル」の特徴として、「お得な深夜料金制度」、「ポートの完全無人化による深夜営業」、「自転車が少ないポートへ返却した場合のボーナスポイント制度」があります。利用登録者数は868人、延べ利用回数は15,223回となっており、大半は30分未満の利用（柏の葉キャンパス駅と東京大学柏キャンパスの往復）となっております（平成25年3月現在）。なお、実証実験期間中においても、通常のレンタサイクルの利用は低下しておらず、利用形態の違いによりレンタサイクルとの共存が図られています。

《記事はこちら↓》

<http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/soukou/soukou-magazine/1309kashiwanoha.pdf>

### ◆横浜都心部におけるコミュニティサイクルの取り組み

（横浜市 都市整備局 都市交通課）

横浜市では、平成23年4月から「横浜都心部コミュニティサイクル社会実験」を実施しています。コミュニティサイクルとは、従来型のレンタサイクルとは異なり、まちの中に複数のサイクルポート（貸出・返却拠点）を設置して、どのサイクルポートでも自転車の貸出・返却が自由に行えるシステムであり、既に欧州各国では広く実施されています。

地元住民に加えて、横浜都心部を訪れる多くの方々がコミュニティサイクルを利用することにより、都心部の複数のスポットを快適かつ手軽に移動できるようになり、回遊性の向上による都心部の活性化や観光振興における効果が期待されます。また、自動車から自転車への移動手段の転換が進むことにより、脱温暖化に向けた効果も期待されます。

コミュニティサイクルの利用登録者数は、社会実験の開始当初は約2,000人（平成23年5月）でしたが、その後は順調に増加し続け、直近では約16,000人（平成25年8月）に迫るまでになっており、平日は通勤や業務、土日祝日は買物や観光での移動手段として広く普及しつつあります。

《記事はこちら↓》

<http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/soukou/soukou-magazine/1309yokohamashi.pdf>

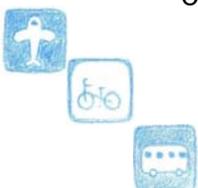


## イベント等紹介

### ◆【10月17日開催】「ITSお役立ちアプリ大集合 ～地域からはじまる“Open ITS to the Next”～」(第20回ITS世界会議 東京2013)

(特定非営利活動法人 ITS Japan)

世界60ヶ国以上の交通や通信技術に係る産官学の関係者が一堂に会する「第20回ITS世界会議 東京2013」が、いよいよ来週となりました。今回の世界会議では、10月17日（木）と10月18日（金）が一般公開日となっており、展示会やITSのデ





モンストレーションを無料で見学・体験できます。

ITS Japan では、当該世界会議の期間中に「ITS お役立ちアプリ大集合 ～地域からはじまる“Open ITS to the Next”～」を開催します。

日時：平成25年10月17日（木） 14:00～

場所：東京ビッグサイト西ホール アトリウムステージ

国内外のITS関係者ならびに一般の市民の方に、オープンな環境でのITSに理解を深めて頂くことを目的に、オープンデータを活用する先進自治体の取り組みや行政支援、一般市民の移動、共助に役立つスマートフォンアプリについて、その特長と魅力をコンパクトに紹介します。

《詳細はこちら↓》

<http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/soukou/soukou-magazine/1309its.pdf>

《ITS Japan のホームページでも御覧になれます↓》

[http://www.its-jp.org/news\\_info/12938/](http://www.its-jp.org/news_info/12938/)

#### ◆【11月5日開催】「平成25年度公共交通勉強会（第3回）～ 続・守りから攻めへ～」の開催について

（兵庫県 県土整備部 県土企画局 交通政策課）

兵庫県では、平成19年度以降、公共交通に係る諸課題の解決を図るため、市町交通政策担当者や交通事業者等を対象とした勉強会を開催しています。

今年度は、11月5日（火）に第3回勉強会を開催する運びとなりました。昨年度に引き続き、“守りから攻めへ”をテーマとし、行政と事業者が協働した取組を推進するためのヒントを得るとともに、自らで現状を打破しようとする攻めの取組を知ることが目的に開催する予定です。

《詳細はこちら↓》

<http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/soukou/soukou-magazine/1309hyogoken.pdf>



## 総合交通体系グループだより

#### ◆【11月26日～11月29日開催】「専門課程 総合交通体系（地域モビリティ戦略）研修」を国土交通大学校で開催します。

（国土交通省 総合政策局 総務課 総合交通体系グループ）

昨年度に引き続き、「専門課程 総合交通体系（地域モビリティ戦略）研修」を、平成25年11月26日（火）から11月29日（金）の間、国土交通大学校で開催します。既に研修実施機関（国土交通大学校）から国の地方支分部局、地方公共団体等には研修員の





募集照会が行われております。

本研修の特徴は、地域における人の円滑な移動の確保（地域モビリティ）に関する計画策定等の企画立案能力の向上に資することを目的として、極めて多岐にわたる内容をカリキュラムに盛り込んでいる点です。今年度の研修内容は、講師（学識経験者、地方公共団体、公益法人）の方々による講義、都市計画事業（首都高中央環状線（首都圏の幹線道路内の制約の中で実施中の、既存施設の大規模拡充工事））の現場見学、課題研究（班別討議）となっておりますので、振るってご参加下さい。

なお、当該研修についてご不明な点がある場合は、当方までお問い合わせ下さい。

《今年度の研修の実施計画、カリキュラム、時間割はこちらから↓》

<http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/soukou/soukou-magazine/1309kenshuu1.pdf>

《（参考）平成24年度研修の開催結果はこちらから↓》

<http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/soukou/soukou-magazine/1309kenshuu2.pdf>

#### ◆全国総合交通分析システム（NITAS）の紹介

全国総合交通分析システム（National Integrated Transport Analysis System：NITAS）は、道路・鉄道・航空・船舶の各交通機関を組み合わせることで総合的に交通体系の分析を行うシステムです。全国的な視点から地方レベルの課題まで様々な問題意識に対応して、交通基盤施設の現状や整備効果等を視覚的・定量的に表現することが可能です。

本システムは、以下のような業務に活用することが可能です。

（幹線交通関係）

- ・ 新幹線駅から全国各地へのアクセス時間の把握
- ・ 国際戦略港湾・国際拠点港湾から全国各地へのアクセス時間の把握 等

（地域交通関係）

- ・ バイパス道路整備によるアクセス時間の変化量の把握
- ・ 公共施設の再編・設置によるアクセス時間の把握 等

（地図上から任意の起終点を指定でき、1kmメッシュの精度での圏域図の作成が可能）

なお、本システムの貸与方法等について不明な点がある場合は、以下のメールアドレス宛てにご連絡下さい。

E-mail：[soukou@mlit.go.jp](mailto:soukou@mlit.go.jp)

《全国総合交通分析システム（NITAS）の詳細はこちらから↓》

<http://www.mlit.go.jp/seisakutokatsu/soukou/nitas/110701NITAS.pdf>





## Information

### ◆総合交通メールマガジンへのご意見をお寄せ下さい！

総合交通メールマガジンでは、読者の皆様からのご意見・ご要望を踏まえて内容を充実させていきたいと考えています。誌面の感想、取り上げて欲しいテーマなど、どのようなことでも構いませんので、ご意見等頂けると幸いです。様式、送付先については、下記URLをご利用下さい。

URL: <http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/soukou/soukou-magazine/iken-merumaga.xls>

引き続き、メールマガジンの受付窓口が変更になった行政機関等の方については、送信先の変更を申請下さい。なお、変更内容については、以下までお願いします。

E-mail: [soukou@mlit.go.jp](mailto:soukou@mlit.go.jp)

### ◆地域の取り組み及びイベント案内募集！！

当課では、情報提供頂いた取り組みをメールマガジンで紹介することにより、各地域でノウハウ等の情報共有・情報交換ができればと考えており、総合的な交通施策の取り組みについて情報提供頂ける自治体等を募集しています。自薦・他薦は問いませんので、お気軽にご連絡下さい。更に、イベント案内について、主催者でも結構ですし、耳より情報でも結構です。勉強会や講演会、セミナー等ご紹介頂ければ、当メールマガジンにて案内をさせていただきます。

(情報提供はこちらまで [soukou@mlit.go.jp](mailto:soukou@mlit.go.jp))

【情報提供頂く内容】

例えば、

- ・ 低炭素社会の実現に向けモビリティのあり方を見直す取り組み（交通の再編等）
- ・ 交通の改善により地域活性化を図る取り組み など

※ これまでに、推薦頂いたものも含めて76件の取り組みを紹介させて頂きました。

バックナンバー一覧：

[http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/soukou/seisakutokatsu\\_soukou\\_tk\\_000005.html](http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/soukou/seisakutokatsu_soukou_tk_000005.html)

### ◆受付窓口の変更がありましたらご連絡ください。

人事異動等により、メールマガジンの受付窓口が変更になった行政機関等の方については、送信先の変更をご連絡願います。なお、他部署でも楽しんで頂けるよう努めて参りますので、引き続きのご購読も歓迎いたします。（連絡先の追加でも結構です）





なお、変更内容については、下記連絡先までお願いします。

E-mail : [soukou@mlit.go.jp](mailto:soukou@mlit.go.jp)

【問い合わせ先】

国土交通省 総合政策局 総務課（総合交通体系グループ） 中川 敏正

TEL : 03-5253-8111（内線53-113）

FAX : 03-5253-1675

E-mail : [soukou@mlit.go.jp](mailto:soukou@mlit.go.jp)

URL : <http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/soukou/index.html>

